女性正帽	地質	冬服上衣と同じとする。
	製式	円型とし、帽の前面に黒色の革製又は合成樹脂製の飾りひもをつける。飾りひもは、帽の両側において、金色の耳ボタン各一個で留める。ただし、幹部自衛官、准陸尉及び幹部自衛官の候補者たる陸曹長にあつては、飾りひもの表面にしま織金線をつけ、耳ボタンは桜星及び桜葉を浮き彫りにしたものとし、三等陸佐以上にあつては、前ひさしの表面の前縁に沿つて金色モール製又は合成樹脂製の桜花桜葉模様をつけるものとする。形状は、図のとおりとする。
略帽	地質	黒色の毛、化学繊維又はこれらの混紡のフェルト編みとする。
	製式	円型とし、天井の両側に各二個のはと目をつけ、通風口とする。形状は、図のとおりとする。
作業帽	地質	作業服上衣と同じとする。
	製式	円筒型とし、共切れの前ひさしをつける。帽の腰回りの両側に各二個のはと目をつけ、通風口とする。前面に共切れの円型台地に茶色糸をもつて桜花の刺しゆうを施した帽章をつける。形状は、図のとおりとする。
ワイシャツ		第二種夏服上衣と同じとする。
女性ワイシャツ		女性第二種夏服上衣と同じとする。
ネクタイ		紫紺色の絹織物、毛織物、化学繊維織物又はこれらの混紡織物若しくは交織織物とする。桜星を中心に桜葉及び桜つぼみを周辺に配した模様を入れる。ただし、防衛大臣の定める陸曹候補者たる自衛官にあつては、色はえんじ色とする。形状は、図のとおりとする。
女性ネクタイ		地質は、ネクタイと同じとする。形状は、図のとおりとする。
外とう	地質	紫紺色の毛織物、化学繊維織物又はこれらの混紡織物若しくは交織織物とする。
	製式	襟：ピークドラペルとする。 肩章：外側の端をそで付に縫い込み、襟側を隠しボタン一個で留める。 前面：ダブルとし、黒色のボタン各四個を二行につける。腰部の左右に各一個の隠しポケットを斜めにつける。 後面：すそをさく。 そで：長そでとし、そで口にバンドをつけ、黒色のボタン一個で留める。 その他：胴回りにともぎれのバンド通し四個及びバンド一個をつけ、黒色のバックルで留める。 形状は、図のとおりとする。
女性外とう		外とうと同じとする。ただし、左前とする。形状は、図のとおりとする。

女性正帽	地質	冬服上衣と同じとする。
	製式	円型とし、帽の前面に黒色の革製又は合成樹脂製の飾りひもをつける。飾りひもは、帽の両側において、金色の耳ボタン各一個で留める。ただし、幹部自衛官、准陸尉及び幹部自衛官の候補者たる陸曹長にあつては、飾りひもの表面にしま織金線をつけ、耳ボタンは桜星及び桜葉を浮き彫りにしたものとし、三等陸佐以上にあつては、前ひさしの表面の前縁に沿つて金色モール製又は合成樹脂製の桜花桜葉模様をつけるものとする。形状は、図のとおりとする。
略帽	地質	濃緑色の毛、化学繊維又はこれらの混紡のフェルト編みとする。
	製式	円型とし、天井の両側に各二個のはと目をつけ、通風口とする。形状は、図のとおりとする。
作業帽	地質	作業服上衣と同じとする。
	製式	円筒型とし、共切れの前ひさしをつける。帽の腰回りの両側に各二個のはと目をつけ、通風口とする。前面に共切れの円型台地に茶色糸をもつて桜花の刺しゆうを施した帽章をつける。形状は、図のとおりとする。
ワイシャツ	地質	第二種夏服上衣と同じとする。形状は、図のとおりとする。
女性ワイシャツ		地質は、第二種夏服上衣と同じとする。形状は、図のとおりとする。
ネクタイ		濃緑色の絹織物、毛織物、化学繊維織物又はこれらの混紡織物若しくは交織織物とする。桜星を中心に桜葉及び桜つぼみを周辺に配した模様を入れる。ただし、防衛大臣の定める陸曹候補者たる自衛官にあつては、色はえんじ色とする。形状は、図のとおりとする。
外とう	地質	濃緑色の毛織物、化学繊維織物又はこれらの混紡織物若しくは交織織物とする。
	製式	襟：ノッチドラペルとする。 肩章：外側の端をそで付に縫い込み、襟側を隠しボタン一個で留める。 前面：ダブルとし、黒色のボタン各四個を二行につける。腰部の左右に各一個の隠しポケットを斜めにつける。 後面：すそをさく。 そで：長そでとし、そで口にバンドをつけ、黒色のボタン一個で留める。 その他：胴回りにともぎれのバンド通し四個及びバンド一個をつけ、黒色のバックルで留める。 形状は、図のとおりとする。
女性外とう		外とうと同じとする。ただし、左前とする。
	地質	淡緑色の綿織物、麻織物、化学繊維織物又はこれらの混紡織物若しくは交織織物に防水加工したものとする。